

報道発表

平成 26 年 2 月 18 日
財 務 省

・不正薬物の押収量が 9 年ぶりに 1 トンを上回る深刻な状況 ・航空機旅客による覚醒剤の押収量が過去最高を記録

－ 平成 25 年の全国の税関における関税法違反事件の取締り状況 －

財務省は、平成 25 年の 1 年間に全国の税関が空港や港湾等において、不正薬物の密輸入その他の関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

1. 不正薬物

不正薬物^{*1}全体の摘発件数は 382 件(前年比 24%増)、押収量^{*2}は約 1,007 kg^{*3}(前年比 61%増)と大幅に増加し、“**深刻な状況**”

押収量が 1t を上回るのは平成 16 年以来 9 年ぶり

※1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(コカイン、ヘロイン、MDMA 等)、向精神薬をいう。

※2 錠剤型薬物を除いたもの。

※3 薬物乱用者の通常使用量で約 3,331 万回分と使用量では過去 2 番目

〔覚醒剤事犯〕

➤ 摘発件数は 154 件(前年比 9%増)、押収量は約 859 kg(前年比 78%増)と”**大幅に増加**”
押収量が 800 kg を上回るのは、平成 12 年以来 13 年ぶり

◇ 密輸入手口の“**大口化傾向**”が顕著

・海上貨物から約 200 kg の大口事犯を 2 件摘発

・押収量 5 kg 超の密輸入事犯が 26 件(前年比 53%増)と大幅に増加

◇ 航空機旅客による押収量が“**過去最高**”を記録

・押収量が約 304 kg と過去最高であった平成 22 年の約 235 kg を大幅に更新

・押収量の半数以上が土産品等に細工をして隠匿

・50 代以上の密輸入者が全体の 4 割以上

◇ 密輸仕出地が短期間で“**目まぐるしく変化**”

・近年増加傾向にあったアフリカ、欧州が減少

・インドを中心としたアジアや中国が急増

〔大麻事犯〕

➤ 摘発件数は 66 件(前年比 20%減)、押収量は約 13 kg(前年比 90%減)と“**大幅に減少**”

〔麻薬事犯〕

➤ 摘発件数は 128 件(前年比 2.8 倍)、押収量は約 135 kg(前年比 12.4 倍)と“**大幅に増加**”

2. その他

- 知的財産侵害事犯として、瘦身用マッサージ器や携帯電話用ケースの密輸入事犯を告発
- 北朝鮮関連事犯として、仕向地を韓国や中国と偽って、北朝鮮向けに中古タイヤや自動車を輸出したものを告発

〔問い合わせ先〕

財務省関税局 調査課 課長補佐 野中

直通 03-3581-4158、代表 03-3581-4111(内 5389)